



さいたま市立与野南小学校 【児童数】 計374名
電話 831-0157



みんなで話しかけて つくろう笑顔の輪

校長 土屋 智樹

「みんなで話しかけて つくろう笑顔の輪」

これは、さいたま市ストップいじめ！子どもサミットにおいて、与野南中学校区(与野南中、大戸小、与野南小)の3校の児童生徒・教職員・保護者の代表が、いじめ防止に関する話し合いを通じて作成したメッセージです。

このサミットは、さいたま市内の小・中・高等・中等教育・特別支援学校の児童生徒代表、教職員、保護者、地域団体、関係行政機関が参加し、市を挙げていじめ防止について考えることを目的として、毎年夏休みに開催されています。今年は7月30日(水)に大宮国際中等教育学校で行われ、私は学校長として教職員を代表し、児童会の代表児童とその保護者、引率教員と共に参加しました。サミットでは中学校区ごとに分かれ、子どもたちが主体となって、いじめ防止に向けた取組の共有や、「ストップいじめ！」を実現するために大切なことについて協議しました。

取組の共有では、まず各校の活動を紹介し合いました。本校からは、「いじめ0の木」¹、「ハッピータイム」、「ハビペコあいさつ運動」、「南小ハッピークローバー」²の活動を紹介しました。いじめが起きてしまった場合、解決までに時間がかかることもあり、その間に被害を受けた子どもや保護者の心身が疲弊してしまいます。だからこそ、いじめを未然に防ぐ環境づくりが重要です。本校の代表児童は、自分達が主体となって明るい学校の雰囲気づくりに力を入れていること、それがいじめのない学校につながっていることを、他校の児童生徒・教職員・保護者に伝えていました。他の2校でも、あいさつ運動を中心とした様々な取組を通じて、学校の明るい雰囲気づくりといじめの未然防止に力を入れていることが分かりました。

その後の意見交換では、それぞれの立場からいじめ防止への思いを語り合いました。子どもたちからは、「友達の中には、自分のつらい気持ちを誰にも話せず、我慢してしまう子がいる」「孤立している仲間がいる」といった実体験に基づく話があり、話題は子どもたちの居場所づくりへと移っていきました。「家庭が安心できる居場所となるよう、子どもの話をじっくり聞きたい」(保護者)、「誰もが自分の居場所を感じられる楽しい学校にしていこうことが、いじめのない学校づくりにつながる」(児童生徒・教職員)などの意見が出され、冒頭のメッセージにまとまりました。このメッセージには、「あいさつやコミュニケーションの力で孤立している友達を笑顔に変え、その輪を広げていこう」という児童生徒・教職員・保護者の強い思いが込められています。

「誰かがやってくれるだろう」では、いじめ防止の取組は決して達成できません。「みんなで話しかけて つくろう笑顔の輪」というメッセージは、私たち一人ひとりに向けられたものです。私は、子どもたちが自分事としてこの取組に向き合えるよう、このメッセージをしっかりと伝えていきたいと思います。保護者や地域の皆様にも、子どもたちの安心・安全のために、ぜひこの取組に御協力いただければ幸いです。



¹ 各教室で「いじめをなくすために大切なこと」について話し合い、学級ごとにスローガンを作成します。



² 友達の素敵だと思ふところをハート型の紙に書き、4つのハートを組み合わせるクローバーの形にして掲示します。